

第13回 山形県社会教育研究大会

県内の活動をもとに考える機会に

10月21日(金)に、長井市の長井市民文化会館とタスパークホテルを会場として第13回山形県社会教育研究大会が開催されました。県内一円から社会教育関係者が集まり、「『地域の特色を活かし未来を拓く社会教育のあり方』～いのち、学び、地域をつなぐ社会教育～」をテーマとして、4つの分科会に分かれ、話題提供者による発表、そしてその後協議を行い、社会教育について考えを深める機会となりました。



庄内地区からは話題提供者として、「学習機会・学習環境の充実」をテーマとした第2分科会で酒田市大沢コミュニティ振興会の代表の皆様による「全世代が『わくわく』する、地域とともにある『おもしろい』学びの場作りとは?」を、「次世代の人材育成」をテーマとした第4分科会で鶴岡市朝日庁舎の担当職員の方による「高校生ボランティア『かだんこの会』の挑戦」を発表していただきました。普段の取り組みを提供していただき、分科会参加者から質問が複数寄せられるなど、協議会の活発な意見交換の「もと」を作っていただきました。ありがとうございました。

また、開会行事では、県社会教育連絡協議会の社会教育関係職員・社会教育委員表彰として、鶴岡市の成田 勇様、庄内町の松浦和雄様が表彰されました。長年の社会教育への功績による受賞、おめでとうございます。

来年度の県社会教育研究大会は庄内地区が開催地となり、鶴岡市を会場に行われます。多くの社会教育関係者の皆様の参加をお待ちしております。(担当:松本)



地域学校協働活動推進員養成講座

思いを大事に！学校と地域をつなぐ



9月30日(金)に地域学校協働活動推進員養成講座第2期を開催いたしました。学校と地域との「つなぎ役」として活躍していただいている方々で学び合い、語り合う時間となりました。今年度は、朝日地域学校協働本部「朝日てづねーたークラブ」の蛸井由美子先生より事例提供をしていただきました。たくさん取り組み事例に加え、どんな願いで、どんなことに気を配りながら活動されているのかといった蛸井先生自身の「思い」についてもお話していただきました。「地域が好き、人が好き、子ども好き、楽しいこと好きならば、みんな学校と地域とのつなぎ役には適格。自分自身が地域とともにある学校づくり、学校を核にした地域づくりを楽しんでほしい。」という言葉が印象的でした。参加者同士の情報交換では、日々の取り組み、悩みを語り合いました。立場、地域によって全く違う色を持つ取り組みであることを改めて実感しました。参加者の皆様のオーダーメイドの取り組みにたくさんのことを学ぶ時間となりました。(担当:岸田)



第2回家庭教育支援フォーラム

メディアのルールづくりと家族のかかわり方



9月7日(水)に公認心理師・精神保健福祉士・ASK 認定依存症予防教育アドバイザーの増田貴久先生を講師として開催しました。今回は参加者53名で、講師の先生も参加者も完全オンラインでの開催となりました。

増田先生は、現在は長崎県で農業をしながら依存症予防の講演活動をされていますが、ご自身も中学時代に不登校やゲーム依存を経験され、大学卒業後はナムコに就職し、その後依存症専門病院に転職するなど、実体験に裏打ちされた説得力のあるお話を聞くことができました。参加者の中には、「メディアのルールを決めてもなかなか守れない子はどうしたらよいのか」「メディアとの上手な付き合い方が知りたい」という思いをもって参加された方も多く、それを解決する『ルールづくり3か条』やサードスペースを作ること等のヒントをいくつもお教えいただきました。



参加者からは「メディアは便利な反面、子どもたちにとってはマイナスで遠ざけたいものと思っていましたが、今回の研修はこれまで思っていたことを覆す、目から鱗の有意義な研修でした。」という感想をいただきました。これからも皆様のニーズにお応えできるような研修会を企画していきたいと思えます。(担当:後藤)

クラブ訪問 in 庄内

今年度、10月まで8つの総合型地域スポーツクラブを訪問しました。話し合いの中で、会員の声や地域の方を大事にしながら工夫して教室や事業、イベントを展開していることが話題になります。また、部活動の地域移行が目立っていますが、訪問の際に話を伺うと、指導者を派遣したり、保険や施設予約などの事務的業務を担ったりしているクラブがあります。

今年度は管内全てのクラブを訪問予定です。また、訪問に加え、実際にイベントや教室を視察し(時には参加し)スタッフや会員の声を聞くなど、よりクラブに近い立場で関わっていききたいと思います。(担当:大谷)



【やわた Y-Y クラブのラージボール卓球教室の様子】

次世代の地域づくり中核人材育成事業

発見しよう!発信しよう!酒田の魅力

「発見しよう!発信しよう!酒田の魅力」と題して、参加者を募集したところ、酒田の中高生9名が集まってくれました。このメンバーで企画・運営し、「地域づくり」に挑戦します。

10月4日(火)に第1回参画者会議を開催し、オリエンテーションをしました。その後、中高生の皆さんと青年ファシリテーターがお互いに自己紹介をしました。中高生の皆さんに応募の理由を聞いてみると「自分たちで一から企画・運営することに興味がある!」「住んでいるのに気が付かない酒田の魅力を発見したい!」「町おこしたい!」など、前向きな思いがあふれていて素敵でした。思いを形にできるよう、青年ファシリテーターの知恵を借りながら進めてまいります。(担当:高橋)



庄内教育事務所ホームページ

庄内教育事務所

検索



→社会教育情報

社会教育事業に関する詳しい情報を掲載しています。

